

## 第 114 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	売掛金	買掛金
仕入	売上	受取手形	支払手形
資本金	資本準備金	利益準備金	別途積立金
繰越利益剰余金	建物	建設仮勘定	建物減価償却累計額
未収金	未払金	仕入割引	売上割引
火災未決算	火災損失	保険差益	委託販売
受託販売	支払手数料	受取手数料	貸倒引当金
貸倒損失	償却債権取立益	貸倒引当金戻入	貸倒引当金繰入
株式交付費			

1. 株式 500 株を 1 株あたり 10,000 円で発行した。払込金は、全額当座預金に振り込まれた。払込額のうち半分は、資本金として計上せずに資本準備金とすることとした。なお、新株発行のための諸費用 30,000 円は現金で支払ったが、これは当期の費用として処理することとした。
2. 当期に発生した売掛金のうち、100,000 円をすでに貸倒処理しているが、決算日においてこのうち 30,000 円を現金で回収した。
3. すでに 3 週間前に掛けで仕入れた商品 500,000 円について値引 20,000 円と割戻 10,000 円を受けて、残額は当座預金から支払った。
4. 火災により焼失した建物（取得価額 10,000,000 円、残存価額 1,000,000 円、耐用年数 9 年、定額法により償却、間接法により記帳）について請求していた保険金 2,000,000 円を支払う旨の連絡を保険会社から受けた。なお、当該建物については、取得から 5 年を経過した当期首において火災があり、簿価の全額を火災未決算勘定に振り替えていた。
5. かねて販売と代金回収の委託を受けていた商品 20 個（指値@10,000 円）のうち、本日 8 個を販売し、代金は掛けとした。このため当社は、ただちに売上計算書を作成し、委託先に発送した。なお、当社は、販売価額の 10%を販売手数料として受け取ることとなっている。